

保護者の皆様へ

吹田市立古江台小学校
校長 川中 倫世

令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個別の結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は、小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数、理科に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

全体の正答率は、全国値を上回っていた。

●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

言語の特徴や使い方に関する事項・・・全国値を上回る

・「話し言葉と書き言葉との違いを理解し、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える」ことは、よくできている。

・「漢字を文の中で正しく使う」ことは、概ねできている。

我が国の言語文化に関する事項・・・全国値とほぼ同じ

・「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと」は、概ねできている。

話すこと・聞くこと・・・全国値とほぼ同じ

・「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる」ことは、よくできている。

・「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができる」ことは、課題がある。

書くこと・・・全国値をやや上回る

・「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる」ことは、課題がある。

読むこと・・・全国値を上回る

・「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える」「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」ことは、概ねできている。

・「表現の効果を考える」ことは、全国値を上回っている。

●国語科における成果と今後の改善点について

「話すこと・聞くこと」においては、低学年では紹介・説明・報告など話したり聞いて感想を伝えたりする活動、中高学年では、発表に対する質問や意見を話し合い、互いの意見や立場を捉えて自分の考えをまとめる活動を増やしていきます。

「書くこと」においては、低学年では順序、文の続き方などを観点に、自分の文章や内容のよいところを見つける、中学年では、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける、高学年では、教科書以外の様々な分野の文章を読み、よいところを見つける学習が必要だと考えます。

「読むこと」においては、優れた叙述や様々な表現技法に多く触れるためにも、読書活動をより推進していきたいと考えます。

●算数《概要》

全体の正答率は、全国値を上回っていた。

●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と計算・・・全国値を上回る

・「目的に合った数の処理の仕方を考察する」ことは、全国値を上回っている。

図形・・・全国値を上回る

・「図形を構成する要素に着目したり、考察したりする」ことは、概ねできている。

変化と関係・・・全国値を上回る

・「数量が変わっても割合は変わらないことがわかる」「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する」ことは、全国値を上回っている。

データの活用・・・全国値を上回る

・「表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目の数値を求める」「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴をとらえて考察する」ことは、概ねできている。

●算数科における成果と今後の改善点について

全体的には、全ての設問において全国値を上回り、良い結果でした。

「数と計算」においては、具体場面で目的に合った数の見積もりや処理判断をし、他教科や日常生活と関連付けていきます。

「図形」においては、低学年から系統性を意識して図形の構成要素に着目したり作図したりする活動を重視していきます。

「変化と関係」においては、割合について具体的な生活場面から問題を見つけて意味理解をはかることが重要だと考えています。基準量と比較量の関係を図や式と結びつけて表すことも取り組んでいきます。

「データの活用」においては、データの特徴や傾向の妥当性について、目的に応じて考察したり説明したりする活動を増やしていきたいと考えます。

●理科《概要》

全体の正答率は、全国値を上回っていた。

●理科《各領域における成果と課題》

エネルギー・・・全国値を上回る

- ・「実験の過程や得られた結果を適切に記録する」ことは、概ねできている。
- ・「日光は直進することがわかる」「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ」ことは、課題がある。

粒子・・・全国値を上回る

- ・「メスシリンダーの正しい使い方を身につけている」については、用具名を正しく答えることに課題がある。

生命・・・全国値をやや上回る

- ・「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題解決の見通しを持ち、自分の考えを持つ」ことは、よくできている。
- ・「観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ」ことは、課題がある。

地球・・・全国値を上回る

- ・「観察などで得た結果を、問題の視点で分析し、解釈し、自分の考えをもつ」ことは、よくできている。
- ・「観察などで得た結果を、複数の視点で分析し、解釈し、自分の考えをもつ」ことは、課題がある。

●理科における成果と今後の改善点について

どの領域においても、問題意識や見通しをもって観察・実験に取り組むことによって、事実的な知識を得たり、基本的な技能を習得したりすることを目指していきます。

観察・実験などの結果について、具体的な数値を根拠に傾向を見出したり考察したりする活動を重視したいと考えます。また今後も、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出したり、予想や仮説をたてたりする機会を設定したいと考えています。また、他者の考えを認め、多様な視点から自分の考えを見つめ直す振り返りの機会ももちたいと考えています。

自然に触れる体験活動を補う学習として、端末機の積極的な活用も行っていきます。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」「普段、1日当たりのテレビゲーム（携帯電話・スマートフォンを含む）をしている時間」「普段、1日当たりの携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をしている時間」については、約束をあまり守っておらず、1～2時間との回答が多かった。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」については、肯定的な回答がやや少なかった。
- ・「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」については、肯定的な回答が多かった。
- ・「地域の大人との関わり」「地域行事への参加」「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」については、今年度も新型コロナ感染防止対策による影響はあるとは思うが、肯定的な回答が少なく、社会とつながる意識に課題が見られる。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については、肯定的な回答が多かった。

【教科・学習について】

- ・「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」については、肯定的な回答が多かったものの、否定的な回答もあった。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」については、肯定的な回答がやや少なかった。
- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」については、肯定的な回答が多かった。
- ・「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」「友だちと協力するのは楽しい」については、肯定的な回答が多く、人との関わりを持とうとする姿勢が見られる。

3. 今後の取り組み

学力・学習状況調査において、本校6年生児童は、全体として全国値を上回る結果でした。この結果は、児童の日頃からの努力の結果に加えて、保護者の皆様が、各家庭での学習環境作りに留意してくださっていることが大きく関わっていると考えています。

教科に関する結果を踏まえ、本校では、昨年度より取り組んでいる「国語科を主とした表現力」を育てるための指導の工夫、ICT機器の利用によるわかりやすい授業、各教科で表現活動を重視した指導などをさらに進めてまいります。今後は、学んだ知識・技能が、教科だけでなく日常生活と関連するよう授業の工夫に取り組み、児童一人ひとりが目的意識をもって問題の解決にのぞめるよう、主体的な学びについても研究を進めていきます。

また、生活習慣や学習環境等の結果を踏まえ、人と関わりながら、自他の違いや良さに気づき、互いに認め合い、相手の気持ちを思いやりながら、人と協力できることの喜びや大切さに気づけるよう、今後も指導を進めてまいります。誰もが安心して、共に学校生活を送ることができる学校となるように、今年度も「いじめ防止授業」「デジタルシティズンシップ教育」など、教育活動全体において、人との関わりを大切に考えてまいります。

今回の学力・学習状況調査からみた課題を踏まえ、子どもたちがより充実した学校生活を送り、新しい時代を生きるために必要な教育を目指し、学校教育活動の充実を図ってまいります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。